

## 商学部の教員の養成の目標

### <商学部 商学科>

日本は少子高齢化の進展、急速なグローバル化、人工知能の普及やデジタル化など、私たちを取り巻く技術や社会・経済環境の激しい変化が引き起こす新しい困難な問題に日々直面し、企業は、激変する環境の中、新しい価値を創造し成長していかなければならない。商学部商学科では、深い専門知識や実務能力、幅広い行動力を持って、自ら「考え」、「行動」し、社会的責任を深く理解し、これらの複雑・多様化するビジネス・経済・社会の諸問題を自ら解決して、日本を切り拓くことができる「品格ある柔軟なビジネスリーダー」の育成を目指している。この教育理念のもと、(1)教養科目、ビジネス英語や会計の基礎のほか、経営学・商学のあらゆる分野の基礎知識を学ぶ必修科目をすべて修得するとともに、それぞれの興味・関心に応じて「流通」「ファイナンス」「国際ビジネス」「マネジメント」「会計」の5つの中から選択した一つの専修について、関連する専門科目を学ぶことによって専門知識を深め、問題を解決することができる技能、(2)ビジネス・経済・社会に対する広い視野と鋭い洞察力を持ち、単なる利益の追求にとどまらず、企業倫理と社会的責任を深く認識し、品格をそなえたリーダーシップと「考動力」を発揮して社会に貢献することができる能力、(3)自らの学びに責任を持ち、ビジネス・経済・社会の諸問題を自ら発見し、主体的かつ柔軟に取り組むことができる態度をそれぞれ身に付けるとともに、教科及び教職に関する体系的な教職課程カリキュラムの履修を通じて、教科指導及び生徒指導等における実践的指導力並びにそれらを下支えする強い使命感、教育的愛情、コミュニケーション力等、教師に求められる人格と力量を兼ね備える、豊かな感性と個性を持った教員を養成する。

**(商学部 商学科 中一種免 社会)**

基礎となる学部専門教育において、「品格ある柔軟なビジネスリーダー」の育成を目指し、今後のビジネスシーンで活躍するために必須となる「英語」と「会計」の知識とスキルを着実に身に付けるとともに、商学の基本的な知識をしっかりと修得したうえで、専門分野を集中的に学び、プロフェッショナルなビジネスリーダーを育成するカリキュラムを編成している。具体的には、国際社会の共通言語である「ビジネス英語」と、ビジネスの世界の共通言語といえる「会計」を自在に使える能力を身に付け、さらに後述する5つの専門分野を横断した商学の基礎を低年次に満遍なく学んだうえで、上位年次には「流通専修（流通のメカニズムや企業活動に関する知識、理論を学ぶ）」、「ファイナンス専修（金融機関の構造を資金運用、リスクなどを中心に学ぶ）」、「国際ビジネス専修（国際関係、貿易、世界経済などをグローバルな視点で学ぶ）」、「マネジメント専修（管理、労務、情報、戦略など、企業・経営の実務を学ぶ）」、「会計専修（簿記や会計情報を読み解く実務と理論を学ぶ）」の5つの専修・ゼミナールに所属し、自分の目指すべき将来像や各業界への適性をイメージしながら専門性を磨くとともに、グローバル社会及びビジネスの現場で求められる力を身に付けるため、ビジネス英語、ビジネス・リーダーシップ、会計、データ・サイエンスに関連する実践プログラムを設置し、豊富な体験と達成感の積み重ねによって、実用的なスキルと強い自信を磨いている。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めており、中学校「社会」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、(1)わが国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるわが国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を有し、総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮しうる教員を養成する。

**(商学部 商学科 高一種免 地理歴史)**

基礎となる学部専門教育において、「品格ある柔軟なビジネスリーダー」の育成を目指し、今後のビジネスシーンで活躍するために必須となる「英語」と「会計」の知識とスキルを着実に身に付けるとともに、商学の基本的な知識をしっかりと修得したうえで、専門分野を集中的に学び、プロフェッショナルなビジネスリーダーを育成するカリキュラムを編成している。具体的には、国際社会の共通言語である「ビジネス英語」と、ビジネスの世界の共通言語といえる「会計」を自在に使える能力を身に付け、さらに後述する5つの専門分野を横断した商学の基礎を低年次に満遍なく学んだうえで、上位年次には「流通専修（流通のメカニズムや企業活動に関する知識、理論を学ぶ）」、「ファイナンス専修（金融機関の構造を資金運用、リスクなどを中心に学ぶ）」、「国際ビジネス専修（国際関係、貿易、世界経済などをグローバルな視点で学ぶ）」、「マネジメント専修（管理、労務、情報、戦略など、企業・経営の実務を学ぶ）」、「会計専修（簿記や会計情報を読み解く実務と理論を学ぶ）」の5つの専修・ゼミナールに所属し、自分の目指すべき将来像や各業界への適性をイメージしながら専門性を磨くとともに、グローバル社会及びビジネスの現場で求められる力を身に付けるため、ビジネス英語、ビジネス・リーダーシップ、会計、データ・サイエンスに関連する実践プログラムを設置し、豊富な体験と達成感の積み重ねによって、実用的なスキルと強い自信を磨いている。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めており、高等学校「地理歴史」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、(1)現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を有し、総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮しうる教員を養成する。

**(商学部 商学科 高一種免 公民)**

基礎となる学部専門教育において、「品格ある柔軟なビジネスリーダー」の育成を目指し、今後のビジネスシーンで活躍するために必須となる「英語」と「会計」の知識とスキルを着実に身に付けるとともに、商学の基本的な知識をしっかりと修得したうえで、専門分野を集中的に学び、プロフェッショナルなビジネスリーダーを育成するカリキュラムを編成している。具体的には、国際社会の共通言語である「ビジネス英語」と、ビジネスの世界の共通言語といえる「会計」を自在に使える能力を身に付け、さらに後述する5つの専門分野を横断した商学の基礎を低年次に満遍なく学んだうえで、上位年次には「流通専修（流通のメカニズムや企業活動に関する知識、理論を学ぶ）」、「ファイナンス専修（金融機関の構造を資金運用、リスクなどを中心に学ぶ）」、「国際ビジネス専修（国際関係、貿易、世界経済などをグローバルな視点で学ぶ）」、「マネジメント専修（管理、労務、情報、戦略など、企業・経営の実務を学ぶ）」、「会計専修（簿記や会計情報を読み解く実務と理論を学ぶ）」の5つの専修・ゼミナールに所属し、自分の目指すべき将来像や各業界への適性をイメージしながら専門性を磨くとともに、グローバル社会及びビジネスの現場で求められる力を身に付けるため、ビジネス英語、ビジネス・リーダーシップ、会計、データ・サイエンスに関連する実践プログラムを設置し、豊富な体験と達成感の積み重ねによって、実用的なスキルと強い自信を磨いている。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めており、高等学校「公民」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、(1)選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う、(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を有し、総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮しうる教員を養成する。

**（商学部 商学科 高一種免 商業）**

基礎となる学部専門教育において、「品格ある柔軟なビジネスリーダー」の育成を目指し、今後のビジネスシーンで活躍するために必須となる「英語」と「会計」の知識とスキルを着実に身に付けるとともに、商学の基本的な知識をしっかりと修得したうえで、専門分野を集中的に学び、プロフェッショナルなビジネスリーダーを育成するカリキュラムを編成している。具体的には、国際社会の共通言語である「ビジネス英語」と、ビジネスの世界の共通言語といえる「会計」を自在に使える能力を身に付け、さらに後述する5つの専門分野を横断した商学の基礎を低年次に満遍なく学んだうえで、上位年次には「流通専修（流通のメカニズムや企業活動に関する知識、理論を学ぶ）」、「ファイナンス専修（金融機関の構造を資金運用、リスクなどを中心に学ぶ）」、「国際ビジネス専修（国際関係、貿易、世界経済などをグローバルな視点で学ぶ）」、「マネジメント専修（管理、労務、情報、戦略など、企業・経営の実務を学ぶ）」、「会計専修（簿記や会計情報を読み解く実務と理論を学ぶ）」の5つの専修・ゼミナールに所属し、自分の目指すべき将来像や各業界への適性をイメージしながら専門性を磨くとともに、グローバル社会及びビジネスの現場で求められる力を身に付けるため、ビジネス英語、ビジネス・リーダーシップ、会計、データ・サイエンスに関連する実践プログラムを設置し、豊富な体験と達成感の積み重ねによって、実用的なスキルと強い自信を磨いている。これらの系統立てた学びの中で豊かな教養と高度で深い専門的学芸を学位プログラムとして修めており、高等学校「商業」の教職課程では、その学位にふさわしい高い専門性と知識能力を基盤としながら、(1)商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする、(2)ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う、(3)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うなど、商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成できる質の高い教科指導力を有し、総合的な学習の時間、生徒・進路指導及び学校経営・学級経営においてもこれらの学問的独自性と教育の特色を活かした専門性開発により、学校現場においてリーダーシップを発揮しうる教員を養成する。